

待降節第1週 聖餐礼拝

2018年12月2日 第一礼拝(午前8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞	司会者	同
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	—	同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	—	同
祈禱	司会者	同
分餐	(新聖歌53)	—	同
感謝の賛美	新聖歌202「一度死にしわれをも」	—	同
聖書朗読	『ルツ記』2章1-23節(旧約459頁)	司会者	同
黙想	—	同
説教	「御翼の下からもう一度」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌251「主イエスの御側に」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	小林洋子姉	
諸報告	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：	聖餐準備：佐藤 鈴子姉 配餐：伊東 一馬兄
司集	会：近伸之牧師 会：小山 千春姉 笹川 清子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 聖餐の配餐：伊東 一馬兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤 繁実兄 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

1. 神はボアズを「はからずも」ルツの傍らに置き、導かれた。ルツとボアズの出会いは、私たちの救いの予型。
2. 二人の交わりもまた神と私たちの関係の予型。イエスの翼の下に身を避けるならば、不動の喜びがある。
3. かつては三人の家族を失い「私をマラ(苦しみ)と呼んでくれ」と言ったナオミは、今や「死んだ者にも恵みを惜しまれない方」と神を賛美した。人生に偶然は一つもない。悪しきことさえも益となして神は人生を導く。

今週の暗唱聖句

「あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない」(『出エジプト記』20章3節)

[敬和学園高校の生徒用] 牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2018年12月2日

教団紙「世の光」第819号／
宣教会新年聖会のポスター[1月14日(月・祝)10:00より万代市民会館にて]／
村上福音キリスト教会より領収書／FEBC／東北地区KGK

先週の集会出席者数

11/25(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性- 幼児女子1 小学女子- 中学女子- 高校女子- 女児計1 成人女性1		
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、書道教室を開催	
	歓迎礼拝(子ども)	男12 女20 男児2 女児5	11/26(月) 月曜家庭集会	男1 女3 男4 女5
	夕拝	(休会)	11/28(水) パルナバ祈禱会	男- 女3
			11/30(金) シャベリ場夕ピタ	男- 女2
			11/30(金) 金曜祈禱会	男- 女2

諸集会のご案内

書道教室	※月に一回、書道教室を開催しています		
月曜家庭集会	(休会)		
ネヘミヤ祈禱会	12/5(水) 午後7:30	教会堂	司会：片山 初子姉
しゃべり場夕ピタ	12/7(金) 午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
金曜祈禱会	12/7(金) 夜	教会堂	

12/9(日) 待降節第2週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
第二礼拝 午前10:30	司会：伊東 一馬兄 集会：笹川 清子姉 長谷川睦子姉	映像・音響：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：小山 千春姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	12/2[佐藤兄] 12/9[片山姉] 12/16[佐藤兄] 12/23[特別礼拝に合流] 12/30[近牧師]		
掃除当番順	12/2[猪爪姉] 12/9[初子姉] 12/16[小林姉] 12/23[小山姉] 12/30[笹川姉]		
主日の予定	グループ分かち合い 礼拝後 会堂建築学び会 昼食後	教会堂 教会堂	
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『ルツ記』3章1-18節	

報告

1. 本日の予定
聖餐礼拝の恵みを感謝いたします。十字架の恵みを心に刻みつけ、新たな一ヶ月を歩みましょう。礼拝後は昼食をいただき、CS教師会や定例役員会、クリスマス諸準備を進めます。どうぞご協力をお願いします。
2. PBA ART CALENDARが届きました。
PBAより2019年カレンダーが届きました。どうぞ皆さまお持ち帰りくださりご活用ください。なお、教会員の方は1部につき100円を会計役員の佐藤鈴子姉にお支払いください。
3. 先週の来会者について
11月25日(日) 歓迎礼拝に倉林省子姉が出席されました。
- 4.

「一日ドック」とやらいうものに行って、総合的な健康診断をしてもらったことがあります。あまり楽しいものではありませんが、車でさえ定期点検が義務づけられているぐらいですから、健康を定期的にチェックしてもらう必要はあるだろうと思うのです。

しかし、それよりも大事なものは、心の健康診断ではないでしょうか。なぜなら、聖書に「何を見張るよりも、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれから湧く」(箴言4・23)とありますように、心の健康の程度によって、その人の生き方は決まるとさえ言えるからです。あるパンフレットに、次のような“心の診断書”というのを書いてありました。

「心の病は体の病氣と似ていますが、外面的に健康に見える人でも、じつはいろいろな隠れた心の病氣と障害とを持っているものです。たとえば、心の風邪ひきは、ぐちと不平の咳を連発します。心のぜんそくの場合には、言い争いとけんかの発作にしばしば悩まされます。心の結核にかかった時には、うらみとねたみの影が胸に広がり、悪口という痰が出て、ついには怒りの大咯血となります。心の高血圧で悩む人は、高ぶりでいっぱい、よくイライラします。心のらい病人は、みだらなことを、まちがった男女関係を楽しみとしてたかれた状態となり、そして汚れた思いと言葉と行いの腐

れが広がり、その結果離婚にまで発展し、家族を泣かせてしまっていることが多いのです。……」

こうして見てみますと、私たちの心は何と病んでいることかと思わされます。どこが悪いかがはっきりわかり、その原因が何なのかを知ることが、治療の前提であることは言うまでもありません。主イエスはかつて「今あなたが見えると言い張るところに、あなたがたの罪がある」と言われたことがあります。人間の一番の罪は、自分自身の疾患を素直に認めようとしないうところにあるのだろうと思うのです。

「丈夫な人に医者はいらない。いるのは病人である。……わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」と主イエスは言われました。主イエスは、罪人を、心の病人を招くために来られたということなのです。キリストは、私たちの心を完全にいやして下さる名医なのです。なぜなら、キリストは、私たちのあらゆる病を負って、十字架についてくださったからです。

「しかし、彼(キリスト)は、私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた」(イザヤ53・5)



ジャン・フランソワ・ミレー作、『落ち穂拾い』(1857年)。当時のフランスでは旧約聖書で命じられている、社会的弱者への配慮がこのような形で実践されていたが、それは生活保証というにはあまりにもわずかだった。それでも信仰を捨てず、落ち穂拾いに明日への糧を得て希望をつなぐ寡婦らの姿をひたすら写實的に描いた作品である。この時期のミレーもまた、自殺を考えるほどに貧困のどん底にあったが、彼女たちの懸命に生きる姿に自分自身を重ねたのかもしれない。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



12/8(土)「ちいさなみつつのクリスマス」亀岡亜希子さん

山形県米沢市在住の絵本作家・亀岡亜希子さんは、『ねんにいちどのおきやくさま』『わすれものをとどけに』など動物を主人公にした絵本や童話、また、まんが絵本の出版など幅広い作品を手がけています。クリスマス番組の2週目は、亀岡さんに、ねこ、犬、ぶたという主人公が本当のクリスマス、本当の愛を見つけていくという絵本『ちいさなみつつのクリスマス』について伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2018年度教会目標 **「弟子の覚悟をもって」**

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

